

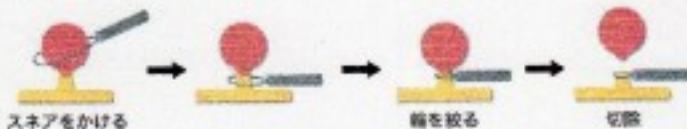
大腸ポリープの内視鏡治療

内視鏡によりポリープやがんを治療する方法にはいくつかの種類があります。代表的なものとしては、「ポリペクトミー」、「内視鏡的粘膜切除術(EMR)」、「内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)」といわれるものがあります。これらは病変の形や大きさに応じて使い分けられます。

代表的な内視鏡治療法



ポリペクトミー



EMR



ESD



ポリペクトミー	ポリープの基にスネアという金属性の輪をかけて、高周波電流を流して切り取ります。基のある形のポリープに用いられます。
EMR	粘膜の下に薬液を注入し、病変を持ち上げ、スネアをかけて切り取ります。基のない平坦な形のポリープに用いられます。
ESD	粘膜の下に薬液を注入し、専用の電気メスで病変の周囲の粘膜を切開し、病変を少しずつ剥離して切除します。大きな病変や、薬液で病変が持ち上がらないときなどに用いられます。